

平成18年度岡山県食品衛生監視指導計画に基づく監視指導結果（概要）

食品衛生法の規定により定めた「平成18年度岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導、試験検査、自主管理の推進、リスクコミュニケーションの推進結果については、次のとおりです。

記

1 監視指導結果

飲食店、食品製造施設、学校給食施設等を対象に施設・設備の衛生管理、食品の衛生的な取扱い等の指導を実施した。

対象施設	監視目標	監視指導結果	目標達成率
27,056施設	24,016施設	27,824施設	116%

2 試験検査結果

流通食品の安全を確保するため、各種食品製造業や量販店で収去検査^{注1}、腸管出血性大腸菌汚染実態調査、及び遺伝子組換え食品検査等の買上検査を実施した。

(1) 収去検査

検査目標検体数	検査実施検体数	違反件数
3,400検体	3,845検体	3件 ^{注2}

注1：収去検査とは、食品衛生法に基づき、流通食品を無償で譲り受け違反の有無を確認する行政検査である。

注2：違反の内容は、めん類製造業者の食品添加物使用基準違反（プロピレングリコール）1件、生食用かき加工基準違反（養殖海域海水）2件であった。

なお、これらについては、店頭からの撤去、出荷停止等の措置により安全を確保した。

(2) 買上検査

検査区分	検査目標検体数	検査実施検体数	検査結果
腸管出血性大腸菌汚染実態調査	195検体	171検体	1件検出
遺伝子組換え食品検査	30検体	36検体	全て適合
アレルギー物質の検査	20検体	20検体	2件不適合 ^{注3}
		37項目	

注3：焼き菓子から表示にない乳を検出した。

なお、これらについては、原因究明を行い、表示指導を行うとともに、違反品の店頭からの撤去等の措置により安全を確保した。

(3) と畜検査

区分	検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数
牛	5, 1 2 3頭	1 6 8頭	3, 2 6 1頭
馬	3 2頭	0頭	5頭
豚	4 5 6頭	1頭	4 4 8頭
めん羊・山羊	2頭	0頭	1頭

(4) BSEスクリーニング検査（全頭検査）

検査頭数	陰性	要確認検査
5, 2 7 4頭	5, 2 7 3頭	1頭 ^{注4}

注4：H18.4.17に処理された72ヶ月齢の雌ホルスタインについて、国に検体を送付し、確認検査を実施したところBSE感染牛であることが確認された。

BSE感染牛は全部廃棄し、市場へは流通していない。

3 自主管理の推進

食品等事業者の責務である自主管理の一環として、自主検査を推進するため、「食品等事業者による自主検査導入促進事業」を実施し、自主検査の啓発に努めるとともに検査実施事業者の認定を行った。

- ・認定事業者数：31事業者

4 リスクコミュニケーションの推進

食品の摂取によって人の健康に悪影響が起きるリスク（危険性）について正しい理解を広めるため、消費者、食品等事業者、行政相互間で情報交換、意見交換等を実施した。

- ・食の安全相談窓口での対応 1, 3 7 3件
- ・食と産を結ぶ地域の会の開催 6回, 3 0 5名参加
- ・ホームページ「食の安全・安心おかやま」の充実
- ・食の安全サポーター拡大事業登録者数 4 6団体
- ・「体験！科学で知る食の安心」事業 1 2 2回, 4, 0 9 0名参加